

かえる倶楽部タイムズ

特集 「手術支援ロボット da Vinci Xi 導入」

泌尿器科では限局性前立腺がんの新たな治療選択肢として、**2023年3月よりda Vinci(ダヴィンチ)Xiを用いたロボット支援前立腺全摘除術を開始**いたしました。

これまでも腹腔鏡を用いた低侵襲手術を行ってきましたが、da Vinci Xiはより複雑な手術操作が可能になりました。

術者(人間)が手術するという自体は従来の内視鏡手術と同じですが、術者は少し離れたコンソールと呼ばれる装置のところで座ったまま操作します。



手術支援ロボット da Vinci Xi



3本のロボット鉗子(一部修正)

術野を立体的に見ながら任意の場所を接近して観察することができ、これまで認識が難しかった細い血管や膜組織を認識できるようになりました。

人間の手は2本ですが、ロボットでは3本の鉗子を操ります。その鉗子は術者の手の動きを正確に再現するだけでなく、手の動きを超えた回転や角度を実現し、より精密な手術が可能となりました。

前立腺癌の手術ではより詳しい構造を確認しながら手術ができることで、制癌および術後尿失禁予防の点で、良好な結果が期待できます。

限局性前立腺癌に対しては、**当院のもう一つの特徴として、密封小線源治療を行っています。大阪市内でこの治療を行っているのは現時点で当院に限られるといった状況です。**低riskの若い前立腺癌患者さまで、性機能温存希望される方には有力な選択肢になりえます。

このように多様な選択肢を提示できるのが当院泌尿器科の特長です。

2023年5月からは腎癌に対してロボット支援下腎部分切除術も開始いたしました。今後、すこしずつ対象疾患・術式を拡大する方針です。

また消化器外科でも7月より直腸がんに対しロボット支援下直腸切除術を開始する予定です。

ロボット支援下直腸切除術は腹腔鏡下手術と比べて出血量が少なく排尿障害や性機能障害も少ない術式です。関西電力病院ではより侵襲とリスクの低い医療の提供を目指しています。

関西電力病院
泌尿器科

部長 **青山 輝義**



日本泌尿器学会指導医
 泌尿器腹腔鏡技術認定医 がん治療認定医
 大阪泌尿器科臨床医会 幹事 学術委員

【所属学会】
 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会・日本ミニマム創学会
 日本癌治療学会・日本癌学会・日本抗加齢学会
 日本女性骨盤底医学会・日本骨盤臓器脱手術学会

関西電力病院
消化器外科

部長 **河本 泉**



【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00
 土曜日 8:30~12:00

TEL 06-7501-1406
 FAX 06-6458-0347

